

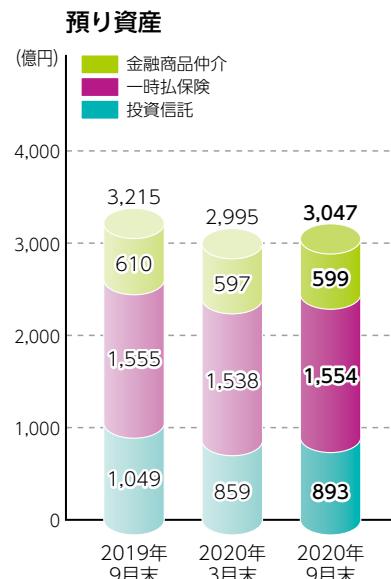
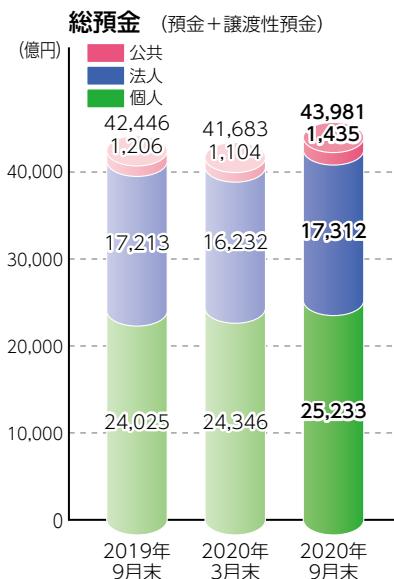
業績ハイライト

総預金等・貸出金の残高推移

総預金等

当中間期末の総預金残高は、個人、法人及び公共預金の全てが増加したことにより、前期末比2,297億円増加して4兆3,981億円となりました。

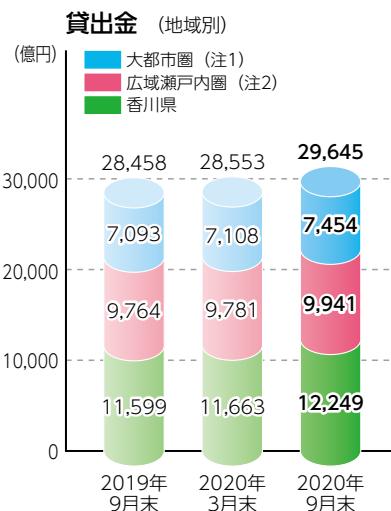
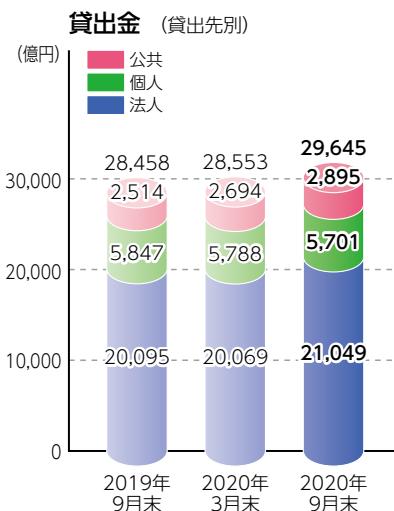
また、預り資産残高は、投資信託、一時払保険及び金融商品仲介がいずれも増加した結果、前期末比51億円増加して3,047億円となりました。



貸出金

当中間期末の貸出金残高は、個人向け貸出金は減少しましたが、法人向け及び公共向け貸出金が増加したことにより、前期末比1,092億円増加して2兆9,645億円となりました。

また、地域別では、香川県、広域瀬戸内圏及び大都市圏の全ての地域で残高が増加しました。



(注) 1. 大都市圏: 東京、大阪、愛知
2. 広域瀬戸内圏: 愛媛、徳島、高知、岡山、広島、兵庫、福岡

業績の推移

コア業務純益は、経費の削減に努めましたが、その他業務利益の減少などにより、前年同期比10億53百万円減少して45億83百万円となりました。

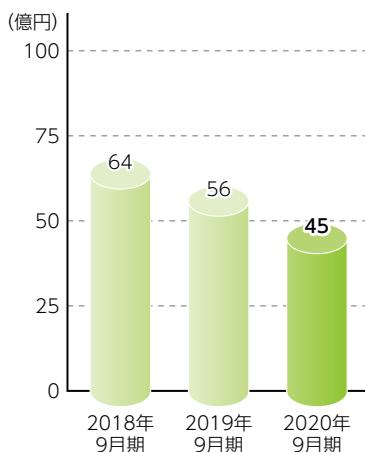
経常損益は、不良債権処理費用は減少しましたが、株式等償却の計上により、前年同期比61億30百万円減少して12億90百万円の損失となりました。

また、中間純損益は、前年同期比46億46百万円減少して18億84百万円の損失となりました。

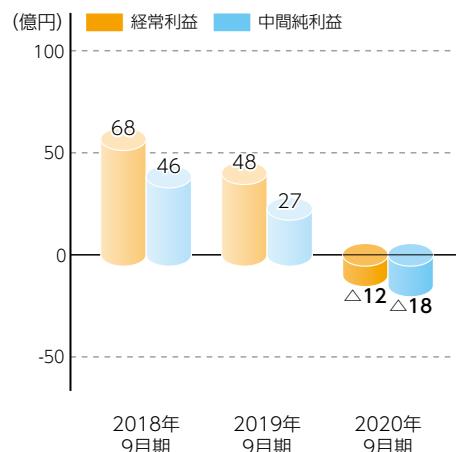
*コア業務純益とは

コア業務純益 = コア業務粗利益(資金利益 + 受取手数料など) - 経費
銀行の本来業務からの利益を表す指標。

コア業務純益



経常利益・中間純利益



香川県内シェア

(2020年9月30日現在)

